

優美華やか晩さん会

ノーベル賞 大村さん、梶田さん

【ストックホルム時事】ノーベル賞の授賞式を終えた大村智・北里大特別栄誉教授(80)と梶田隆章・東大宇宙線研究所長(56)は10日夜(日本時間11日未明)、授賞式と並ぶもう一つの晴れ舞台である晩さん会に出席した。

会場はストックホルム市庁舎「青の間」は、シンプルな内装で普段は殺風景に見えるが、年に一度の晩さん会では、ほのかな照明とろうそくの光に照らされ、優美な空間に変わる。

トランペットのファンファーレを合図に、着飾った受賞者とパートナーらが、奥のテラスから列を作って大階段を下りてくる。先頭を切ったのは梶田さんの妻美智子さん(57)。カール16世グスタフ国王にエスコートされ、クリム色の着物姿で登場した。

(2015年12月11日河北新報夕刊)



①ノーベル賞授賞式後の晩さん会で、テーブルに着く大村さん(左)と梶田さん(右)が笑顔で話している様子。右はスウェーデンのソフィア王女。

①和語を三つ、選んで書き出しましょう。

②漢語を三つ、選んで書き出しましょう。

③外来語を三つ、選んで書き出しましょう。

夫の梶田さんはテーブルでシルビア王妃の隣になり、開始にこやかに談笑。会話の中心は「日本のことか」、世間話だったという。ホテルに戻った梶田さんは「授賞式を無事に終えて良かった」と、ほっとした表情を見せた。

大村さんは、黒地に花柄の着物姿の長女育代さん(43)と腕を組んで入場した。授賞式も見守った育代さんは、「すごく立派でした」としっかり父を立てた。

科学界最高の栄誉が贈られた授賞式と、華やかな晩さん会。大村さんは「忘れられませんが」と感慨深そうに話した。

年 組 名前

(小学校6年/国語)